【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2016-188279(P2016-188279A)
【公開日】平成28年11月4日(2016.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2016-062
【出願番号】特願2015-68136(P2015-68136)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｂ　67/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　67/10　(2006.01)
Ｃ０９Ｃ　3/06　(2006.01)
Ｃ０９Ｃ　3/08　(2006.01)
Ｃ０９Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　57/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　47/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　57/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　47/10　(2006.01)
Ｃ０９Ｂ　1/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｂ　67/04
Ｃ０９Ｂ　67/10
Ｃ０９Ｃ　3/06
Ｃ０９Ｃ　3/08
Ｃ０９Ｃ　1/00
Ｃ０９Ｂ　57/00　Ｚ
Ｃ０９Ｂ　47/04
Ｃ０９Ｂ　57/04
Ｃ０９Ｂ　47/10
Ｃ０９Ｂ　1/22

【手続補正書】
【提出日】平成30年1月18日(2018.1.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
微細化顔料中のカルシウムおよびマグネシウムの原子・イオン総含有量が、１００ｐｐｍ以下であり、
微細化顔料中のナトリウムおよびカリウムの原子・イオン総含有量が、５５ｐｐｍ以上であることを特徴とする、微細化顔料。
【請求項２】
顔料（Ａ）を、水溶性無機塩（Ｂ）と水溶性有機溶剤（Ｃ）を用いてソルベントソルトミリングした後、カルボン酸とカルボン酸塩を含む水溶液（Ｄ）で洗浄することを特徴とする、微細化顔料の製造方法であり、
微細化顔料中のカルシウムおよびマグネシウムの原子・イオン総含有量が、１００ｐｐｍ以下であり、

微細化顔料中のナトリウムおよびカリウムの原子・イオン総含有量が、５５ｐｐｍ以上であることを特徴とする、微細化顔料の製造方法。
【請求項３】
カルボン酸とカルボン酸塩を含む水溶液（Ｄ）のｐＨが、２～６の範囲であることを特徴とする、請求項２記載の微細化顔料の製造方法。
【請求項４】
カルボン酸とカルボン酸塩を含む水溶液（Ｄ）の水温が、５℃以上５０℃未満であることを特徴とする、請求項２または３記載の微細化顔料の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
すなわち本発明は、微細化顔料中のカルシウムおよびマグネシウムの原子・イオン総含有量が、１００ｐｐｍ以下であり、
微細化顔料中のナトリウムおよびカリウムの原子・イオン総含有量が、５５ｐｐｍ以上であることを特徴とする、微細化顔料に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また本発明は、顔料（Ａ）を、水溶性無機塩（Ｂ）と水溶性有機溶剤（Ｃ）を用いてソルベントソルトミリングした後、カルボン酸とカルボン酸塩を含む水溶液（Ｄ）で洗浄することを特徴とする、微細化顔料の製造方法であり、微細化顔料中のカルシウムおよびマグネシウムの原子・イオン総含有量が、１００ｐｐｍ以下であり、微細化顔料中のナトリウムおよびカリウムの原子・イオン総含有量が、５５ｐｐｍ以上であることを特徴とする、微細化顔料の製造方法に関する。